

農 經 新 聞

株式会社 農經新聞社
〒141-0031 東京都品川区西五反田
1-27-6 市原ビル9F
TEL03-3491-0360
https://www.nokei.jp/

高濃度スルフォラファン
214mg (50g中、※SGS)

米ジョンソンホフキンス大で開発
圧倒的な成分量
類似品と比較してください



※SGS(スルフォラファン)登録(コンシレート)
村上農園

今週の注目記事

食品流通網の再構築へ
商慣習見直し物流効率化
首都圏スーパー4社(3面)

「本当に生残れる
会社とは？」
大谷淳一氏(3面)

21年の農業総算出額
8兆8340億円 1.1%減
(4面)

東京果 輸出促進 徐々に奏功

今年度は50億円突破

現地需要の高度化に対応

東京青果(川田一光社長、東京・大田市場)が2018年度から設置している「輸出室」。輸出業務を手掛けるのではなく、仲卸や買参人からの輸出用青果物のオーダーに対応しながら、産地にも輸出が促進できるようにアドバイスしている。今年度の取扱額は2月までで50億円を突破し、最終的には53億円程度まで増える見込みだ。堀内知之室長は「現地実需者の要望はレベルアップしているが、それに応える商品を提供できるように、産地と仲卸などの輸出業者をつなぐしていきたい」としている。



輸出室では海外での国産青果物販売をスムーズにできるようにコーディネート(香港の量販店で)

輸出室のスタッフは6人。輸出先(推計)は、うち3人は品目別には香港が56%、台湾が14%、マレーシア、タイ、シンガポールが各9%など。野菜・果実別では果実が83%を占め、果実のうちブドウが27%、イチゴが25%、モモが14%、リンゴが11%、メロンが10%を占める。野菜はまだまだ少ないが、7割近くを占めるサツマイモは前年比で倍以上伸びている(数値は21年度実績)。

日本産の果実は、元々は贈答用需要に対応してきたもの。最近では現地の実需者も勉強しており、「大玉やトップブランドへの需要がさらに高くなっている」という。リンゴでは黄色タイプが増加

「できる部分は産地で担ってもらいたい」とを要請しているという。

また輸出の際の検疫は産地選果場での実施を推奨している。もし不合格になった場合でも産地に追加で商品を補充してもらい、大田市場や東京港

の倉庫へ配送する。これにより羽田空港や東京港で検疫するより、商品が確実に輸出できる。このようなことも常に産地と話し合い、できることから実施につなげている。

価格設定については、基本的に国内流通と変わらない。ただ、タイやベトナムへの輸出では、先方国に対する園地登録や検査などもある。そのコスト分は加味するように、仲卸、買参人に理解を求めている。これにより産地にも、さらなる取組み強化を促す。

台北市場の開設者

整備後の運営強化へ

京都、大阪市場を視察

台湾最大の青果卸売市場「第一果菜卸売市場」(台北市)の開設者兼卸売業者である台北農産物輸出促進センターの堀内知之室長が、京都、大阪市場を視察した。視察は、市場運営の現状についてDVDで確認。さらに市場運営の現状、物流をはじめとした環境変化への対応、京都市場では、冷蔵施設

設、荷卸場、午後セリ、加工・包装センターなどを視察。また同市場の業務の流れについてDVDで確認。さらに市場運営の現状、物流をはじめとした環境変化への対応、京都市場では、冷蔵施設

の管理費、残留農薬検査システムなどについて情報交換を行った。同社は台湾政府と台北

宮崎の農業法人と婦恋キャベツ生産者 産地間で人財リレー

ウィルテックがサポート

「日本では季節によって勤務地をリレーする」とをあらかじめ納得してもらったうえで、農業分野での特定技能取得に必要な「農業技能測定試験」と「日本語能力試験」の

生活様式などについて情報提供も行う。

宮崎県の農業法人と婦恋の生産者が連携

その第一歩として同社は、宮崎県農業法人経営者協会(香川憲一会長)とおよび婦恋キャベツ

25年度末廃止は妥当
諏訪市公設市場審議会

求めた。
同市場は1974年の開場。年間取扱高はピー



(上)京都市場を視察する台湾青果の森(下)は、同市場を視察した三村秀樹(左)と諏訪市長(右)の懇談の様子

について紹介。また実際のモーターを使用した体験型設備も用意している。

再整備の意匠基本設計は、日本国内でも卸売市場設計の実績が豊富な安井建築設計事務所(佐野吉彦社長、本社大阪府中央区)が担当。昨年から

農水省は、福産物等の販売不振と要因を明らかにし、福島復興再整備法に基づき産物等の生産・流通段階の実態を調査している。

市を中心に、産地や運送業者なども出資して設立された第3セクター。最終的に一体化して整備される新施設は地上8階、地下1階建てで、敷地面積は7万5303平方メートル、延床面積は31万7575平方メートル。高層化する中で売場面積を従前から大幅に拡大し、衛生管理や物流機能を高度化する。

「食品でも共同配送が
ようやく進展するか」

共同配送の先駆けといえ、百貨店向けの衣料品だろうか。生鮮食料品ではなかなか進まなかったが、物流の逼迫もあって、ついに食品でも共同配送がようやく進展するか。

注：納期限返品など各社で異なる「商慣習」の足並みを揃えることが、物流施設のシステム的に難しいとをめぐす。物流施設の共同利用も行うが、将来は各店舗への共同配送もあろうか。

堀内室長は「仲卸、買参人の輸出がスムーズになるよう、バックアップしていきたい」としている。

明日への
対話

な北海道では、物流の非効率性が経営圧迫の要因にもなりかねない。

◆また、ライフコにおける、各メーカーの共同配送も始まっている。一般商品における通販需要は増えるばかりで、ドライパネ不足への対応と配送の効率化が不可欠だ。

◆「ちなみ」にコンビニでは、アマゾンで購入した商品の受取りサービスを行っている。

◆「一方、生鮮ではよいかも知れない。」

こがね
六次産業推進企業
ブランド生姜 黄金しょうが

高知県産生姜 GLOBALGAP Ver.5.2 取得
生鮮生姜製造 ISO9001 2015 取得
加工品製造 KACHI HACCP 取得

取り扱い品目
生姜 にんにく 柚子

取り扱い形態
生鮮 塩蔵 冷凍 乾燥粉末
市販用加工品 業務用加工品

〒782-0034 高知県香美市
土佐山田町宝町4丁目91-4
TEL 0887-53-2576
FAX 0887-52-2498

株式会社 土と共に生きる、生姜のサカタ。